



神奈川県における入院者訪問支援事業について ～関係機関との連携に向けた取組み～

神奈川県健康医療局保健医療部

がん・疾病対策課精神保健医療グループ

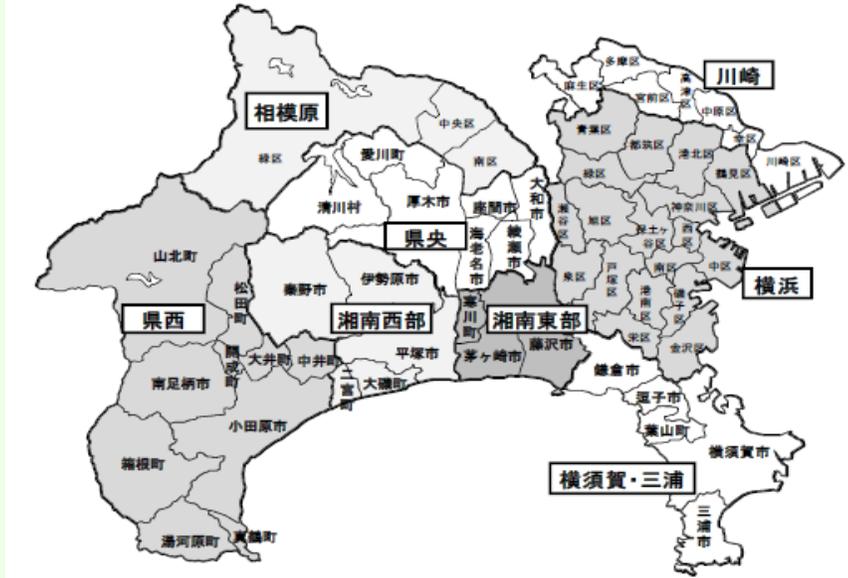
令和7年3月18日

- 1 行政間の連携について
 - (1) 県内他自治体との意見交換
 - (2) 福祉部局との連携
 - (3) 精神保健福祉センターとの連携
 - (4) 中核市との連携
 - (5) 本県における実施体制

- 2 病院への説明について

説明を前に

神奈川県



<取組内容>

- 平成30年度より精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業を開始、精神保健福祉の地域の拠点である県域の11保健所に協議の場を設置した。
- 政令市を除くすべての保健所において、地域の実情に応じた取組を継続している。また、令和8年度中に県内の33全市町村に協議の場を設置することを、「当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～に基づく基本計画」における目標としている。
- 安心して暮らせる地域づくりには、精神障がいへの理解が必要であることから、各地域の課題に応じた地域生活支援関係者への研修や県民向け普及啓発講座を、保健所や精神保健福祉センターの企画協力を得て外部委託にて実施している。
- ピアサポーターの養成を行い、その力を活用して地域移行を進めていく「精神障害者地域移行・地域定着支援事業」を実施。県域の障害福祉圏域の6つの相談支援事業所に事業を委託し、ピアサポーターの病院訪問による入院患者の退院意欲喚起や医療関係者への普及啓発等を実施、個別支援につながる取組を行っている。令和6年度より、入院者訪問支援事業と連携して事業を実施中。

Kanagawa

基本情報（都道府県等情報）

() は政令市を除いた数

| | | | | |
|--|-----------------------|-------------------|----------|----------|
| 障害保健福祉圏域数 (R6年10月時点) | 8 (5) | か所 | | |
| 市町村数 (R6年10月時点) | 33 (30) | 市町村 | | |
| 人口 (R6年10月時点) | 9,223,695 (3,177,258) | 人 | | |
| 精神科病院の数 (R6年10月時点) | 70 | 病院 | | |
| 精神科病床数 (R6年4月時点) | 13,246 | 床 | | |
| 入院精神障害者数 (R5年6月時点) | 合計 | 11,451 人 | | |
| | 3か月未満 (%:構成割合) | 2,939 人 25.7 % | | |
| | 3か月以上1年未満 (%:構成割合) | 2,093 人 18.3 % | | |
| | 1年以上 (%:構成割合) | 6,419 人 56.1 % | | |
| | うち65歳未満 | 2,783 人 | | |
| | うち65歳以上 | 3,636 人 | | |
| 退院率 (R5年6月時点) | 入院後3か月時点 | 57.8 % | | |
| | 入院後6か月時点 | 82.5 % | | |
| | 入院後1年時点 | 89.0 % | | |
| 相談支援事業所数 (R6年4月時点) | 基幹相談支援センター数 | 44 か所 | | |
| | 一般相談支援事業所数 | 186 か所 | | |
| | 特定相談支援事業所数 | 680 か所 | | |
| 保健所数 (R6年10月時点) | 10 (政令市を除き支所を含んだ数:11) | か所 | | |
| (自立支援)協議会の開催頻度 (R6年度予定) | (自立支援)協議会の開催頻度 | 3 回/年 | | |
| | 精神領域に関する議論を行う部会の有無 | 無 | | |
| 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況 (R6年6月時点) | 都道府県 | 有・無 | 既存会議を活用 | か所 |
| | 障害保健福祉圏域 | 有 | 保健所単位で設定 | か所/障害圏域数 |
| | 市町村 | 有 | 31 / 33 | か所/市町村数 |

※「令和6年度自治体情報シート」を一部抜粋

R 5年度

4月

県内他自治体との意見交換

5月

他県への聞き取り

6月

障害福祉課との情報交換会

8月～

精神保健福祉センターとの打合せ

R 6年度

4、5月

中核市への説明、協力依頼

5～7月

病院への説明

1 行政間の連携について

(1) 県内他自治体との意見交換 (R5年4月)

- ◆政令市（横浜市、川崎市、相模原市） + 中核市（横須賀市、藤沢市、茅ヶ崎市）と実施
- ◆各自治体が検討状況や課題等を意見交換

実施主体

- ◆単独？ or 政令市と協調？
- ◆支援対象の範囲は？
 - ・患者の住所基準？
 - ・病院の所在地基準？
- ◆中核市の実施は？

事務局機能

- ◆直営？ or 委託？
 - ・直営：事務負担が大きい…
 - ・委託：委託団体の選定が…
(弁護士会？ M H S W協会？)

訪問支援

- ◆養成対象者はどうするか？
 - ・資格保有者に限定？
 - ・最初からひろく募集？
- ◆必要な訪問支援員数は？



- 他市の意見を聞いて、「わからないことがわからない」からの脱出はできた
- 課題は整理できたものの何から手を付けて良いのやら…

1 行政間の連携について

(2) 福祉部局との連携

福祉部局との整理の前に…

- ◆課題を把握できても、実施フレームが見えてこない

⇒実施に向け動き始めていた**埼玉県へ聞き取りへ**（R 5年5月）

所管課は…

福祉部局

- ◆病院訪問関係の事業は福祉部局で実施

⇒病院訪問に関するの**ノウハウあり**



事務局機能は…

※当時の状況

委託で検討中

- ◆既存事業を指定相談事業所等に委託

⇒**病院との関係を築いている**ため、
事業所に委託を検討

これをモデルに、**福祉部局と連携して実施できないか？**

1 行政間の連携について

(2) 福祉部局との連携（つづき）

障害福祉課との情報交換会（R5年6月）

- ◆双方の担当者と双方のグループリーダーが参加
- ◆業務内容の共有
- ◆業務の課題を共有

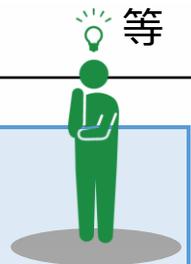
自然と
入院者訪問支援事業の
連携について意見交換に発展

| | がん・疾病対策課 | 障害福祉課 |
|-------|---|--|
| 業務 | 精神科病院における医療施策 ・精神科救急、退院後支援、実地指導・実地審査等 | 精神障害者に対する福祉施策 ・「にも包括」の構築、地域移行・地域定着支援等 |
| 課題 | ・身寄りのない患者には、 <u>地域の情報が届かない。</u> ・孤立化は、 <u>自尊心の低下を招きやすい。</u> ・自尊心が低下すると、 <u>退院の意欲もわきにくい。</u> | ・長期入院患者への <u>有効な支援策となる「地域移行支援」等の利用が伸びない。</u> |
| 必要な対策 | ✓ <u>患者の孤立感を解消し、地域移行につなげる</u> ✓ <u>地域の援助事業者との連携を促進する</u> 等 | ✓ <u>ピアサポーターの力を活用した支援の強化</u> ✓ <u>地域移行支援の対象者の把握</u> 等 |

◆意見交換を通じ、**我々も「にも包括」を担っているんだ！**という気づき

◆連携して業務を実施する意識が自然とできていた

⇒現担当者間での**日頃の積極的なやり取り**が影響か？（双方の計画作成にあたっての確認等）



1 行政間の連携について

(3) 精神保健福祉センターとの連携

精神保健福祉センターとの打合せ (R5年8月～)

- ◆精神保健福祉センター、障害福祉課、当課の間で実施
- ◆地域移行・地域定着支援事業の受託事業所への委託を念頭に
- ◆実施にあたっての課題等を打合せ

【精神保健福祉センター業務】

- ・地域移行・地域定着支援事業の実務を担当
- ・本事業は、県所管の障害福祉圏域ごとに指定相談事業所へ委託

打合せ事項

- ◆そもそも主管課はどこに？
- ◆3課の業務の線引きは？
- ◆委託の仕様内容はどうするの？
- ◆実施要綱は何を盛り込むの？

などなど、ここには記載しきれないくらい

- 年度末に至るまで、**繰り返しの打合せ**
- ・課題解決に向けての対応案の検討と回答
 - ・担当事業のノウハウを踏まえた意見

本事業の実施体制構築に大きく影響

◆対応案を考えても繰り返し課題を提示され、かなり精神的に堪えた…

◆しかし、どうやったらうまく実施できるかの意見を数多くもらえた

⇒専門家集団としての現場の意見をもらえるのはありがたい!!



1 行政間の連携について

(4) 中核市との連携

中核市への説明 (R6年4、5月)

- ◆ 県、市、受託事業所が出席
- ◆ 事業内容の説明や実施課題等を意見交換

- ◆ 受託事業所をはじめ **担当者の顔合わせ**
- ◆ 中核市域における **状況の把握** (病院、地域資源等)

※地域移行・地域定着支援事業はこれまで中核市を事業対象地域としておらず、今回拡大となるため。

事業実施の協力依頼

- ・ 事業の周知
- ・ 関係会議への出席
- ・ 養成研修でのファシリテーター
(小話) ファシリテーターの養成がとても辛かった…
国研修に参加していた市職員の協力があったり何とか実施できた

中核市の状況

- ・ 市長同意の件数が少ない (多くても年10件程度)
- ・ そのため、市単独での事業実施は困難
- ・ その他、精神保健福祉業務のように県で主導して実施してもらえれば助かる
- ・ その場合、**市も事業の協力をする**

【説明会スケジュール】

R6年4月：横須賀市

R6年5月：藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町

※寒川町の精神保健福祉法に基づく一部事務を、茅ヶ崎市へ委託

県と中核市が連携して実施へ

中核市が「市の体制的に無理！」ではなく、**協力関係を築けたのはとても心強かった**



1 行政間の連携について

(5) 本県における実施体制

入院中

地域移行期

地域定着期

<入院者訪問支援事業>

○病院と事業者との連携促進

- ・積極的な情報交換

○精神科病院訪問

- ・入院患者の気持ちや不安を傾聴
患者の意向があれば、地域移行につなぐ
- ・患者への必要な情報提供

<地域移行支援強化事業>

○精神科病院訪問

- ・ピアサポーターによる普及啓発
- ・退院意欲喚起

○積極的なケース把握

- ・個別給付へつなげる働きかけ

<地域移行支援強化事業>

○精神科病院訪問

- ・ピアサポーターからの情報提供

○個別給付の積極的な実施

- ・地域移行支援計画の作成
- ・定期的な面接
- ・体験等の実施 等

<地域移行支援強化事業>

○個別給付の積極的な実施

- ・地域定着支援や自立生活援助の積極的な実施

入院中から地域生活まで、一貫した「当事者目線」の支援を提供し、

精神障がい者にとって切れ目のない支援を受けられる環境をつくる

1 行政間の連携について

(5) 本県における実施体制（つづき）

| 圏域 | 委託事業所 |
|-------------------------|------------------------------------|
| 横須賀・三浦圏域 | 地域生活サポートセンターとらいむ |
| 湘南東部圏域 | 地域生活支援センター元町の家 |
| 湘南西部圏域 (平塚市・大磯町・二宮町) | 平塚市障がい者地域生活相談支援センター ほっとステーション平塚 |
| 湘南西部圏域 (秦野市・伊勢原市) | 相談支援事業所こころの笑顔 |
| 県央圏域 | 相談センターゆいまーる |
| 県西圏域 | 自立サポートセンタースマイル |

※精神科病院(認知症治療の病院を除く)が圏域内に6箇所と最も多い湘南西部圏域では、2事業所へ委託が必要なため、計6事業所としている。

2 病院への説明について

(1) 病院説明 (R6年5月~7月上旬)

- ◆受託事業所及び関係保健所とともに、県所管の精神科病院（27か所）へ訪問
- ◆事業説明と事業関係者の顔合わせを行った
- ◆病院管理者やスタッフに、本事業の意義や目的を理解いただいた

【説明スケジュール】

- 5月中旬：県央圏域（7病院）
- 5月下旬：湘南西部圏域秦野地域（4病院）
- 5月下旬：横須賀三浦圏域（6病院）
- 6月上旬：湘南東部圏域（5病院）
- 6月中旬：県西圏域（3病院）
- 6月中旬：湘南西部圏域平塚地域（2病院）

- ・市町村長同意の医療保護入院者の権利を擁護していくことは、非常に重要な考え方。
- ・市町村長同意の医療保護入院者への支援には病院としても難しさがあるため、本事業の訪問が地域移行等の働きかけのきっかけになると考える。

一方で、実施にあたっての課題等の意見も…

特に派遣回数の少なさに対する指摘が多かった ※予算の都合で、当初訪問回数を制限

- ・患者の孤立感を解消するという目的に対して、1人の患者に対し、複数回の訪問ができず終了することに疑問を感じる。
- ・市町村長同意での医療保護入院者や長期入院者が多く、かなりの数の依頼が発生する可能性がある。
- ・お話をしたい、聴いてほしいというニーズを持っている方も複数名いる。

◆この期間、病院説明のための出張の記憶しかない…

◆しかし、直接伺ったからこそその病院の生の声を聞くことができ、実施体制に反映できた
⇒病院からの質問をまとめたQA集や、訪問支援員向けの手引き等の作成につながった



◆ 庁内関係課との連携

- ・ がん・疾病対策課：精神科病院との関係
- ・ 障害福祉課：訪問支援関係事業のノウハウ
- ・ 精神保健福祉センター：訪問支援関係事業のノウハウ
専門家集団としての現場の意見

◆ 中核市との連携

- ・ 事業の周知
- ・ 関係会議への出席
- ・ 養成研修でのファシリテーター

これまで以上の強固な連携

それぞれの強みを生かした

実施体制の実現

庁内の部署に留まらない

実施体制の実現

入院者訪問支援事業に留まらない手応え

- ・ 訪問後、患者に笑顔を見られ、「また来てもらえますか」との言葉もらった **患者の安心感**
- ・ 最初は緊張感が高かったが、訪問後、「話ができてよかった」と感想をもらった **患者の孤独感の緩和**

ご報告は以上です。



Kanagawa-Ken

【参考】 実施実績

(1) 入院者訪問支援員養成研修

○入院者訪問支援員養成研修開催実績

第1回 令和6年7月23日(水) 海老名市文化会館
第2回 令和6年8月28日(火) 藤沢合同庁舎

| | 申し込み人数 | 受講人数 | 修了者数 | 登録者数 |
|-----|--------|------|------|------|
| 第1回 | 36人 | 34人 | 47人※ | 46人 |
| 第2回 | 22人 | 19人 | 19人 | 19人 |
| 合計 | 58人 | 53人 | 66人 | 65人 |

※ファシリテーターで参加した13人を含む

登録者内訳

| | 事業所職員 | ピアサポーター | ボランティア | MHSW協会 | 行政 |
|-----|-------|---------|--------|--------|-----|
| 第1回 | 11人 | 17人 | 0人 | 4人 | 14人 |
| 第2回 | 8人 | 6人 | 2人 | 3人 | 0人 |
| 合計 | 19人 | 23人 | 2人 | 7人 | 14人 |

Kanagawa Prefectural Government

事業の
コアメンバーを養成

(2) 訪問支援依頼の件数 (事業所別)

(令和7年1月31日現在)

| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 合計 |
|---------------------------|-----|-----|-----|----|----|
| とらいむ (横須賀・三浦地域) | 0件 | 0件 | 0件 | 4件 | 4件 |
| 元町の家 (湘南東部地域) | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 |
| ほっとステーション平塚 (湘南西部平塚地域) | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 |
| こころの笑顔 (湘南西部秦野地域) | 0件 | 0件 | 5件 | 2件 | 7件 |
| ゆいまーる (県央圏域) | 0件 | 1件 | 2件 | 0件 | 3件 |
| スマイル (県西地域) | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 |

(3) 依頼時点对応結果（事業所合計）

（令和7年1月31日現在）

| | | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 合計 |
|----|-------------------|-----|-----|-----|----|-----|
| 件数 | | 0件 | 1件 | 7件 | 6件 | 14件 |
| 内訳 | 訪問支援員 派遣調整 | 0件 | 0件 | 6件 | 5件 | 11件 |
| | 訪問調整するも キャンセル | 0件 | 1件 | 1件 | 1件 | 3件 |
| | 情報提供等実施 派遣せず完了 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 |
| | その他 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 |

(4) 精神科病院への訪問実績

(令和7年1月31日現在)

| 日付 | 訪問病院 | 主な希望内容 | 派遣者数 | | | | 複数回 訪問希望 |
|--------|-------|----------------------------|------|-----------|------------|-----|------------------|
| | | | ピア | 事業所 職員 | ボラン ティア | その他 | |
| 12月16日 | S病院 | 単身生活を希望している方の話を聞いて欲しい | 1人 | 1人 | | | なし |
| 12月23日 | Y病院 | 他市のグループホームに入所希望の方の話を聞いて欲しい | | 1人 | | 1人 | なし |
| 12月23日 | H K病院 | 自分の話を聞いてほしい | | 2人 | | | なし |
| 1月9日 | S N病院 | 話を聞いてもらい、孤独感を緩和させたい | 1人 | 1人 | | | 入院者からの希望はあったが、退院 |

(4) 精神科病院への訪問実績 (つづき)

(令和7年1月31日現在)

| 日付 | 訪問病院 | 主な希望内容 | 派遣者数 | | | | 複数回 訪問希望 |
|-------|------|--------------------------|------|-----------|------------|-----|-------------|
| | | | ピア | 事業所 職員 | ボラン ティア | その他 | |
| 1月22日 | M病院 | 退院に向けての思いを話したい | | 2人 | | | なし |
| 1月27日 | M病院 | 退院するにはどうしたらよいか 教えてほしい | | 2人 | | | なし |
| 1月29日 | M病院 | 退院したいけど話が進まない | | 2人 | | | なし |
| 1月31日 | H病院 | グループホームに退院したい | | 1人 | | 1人 | なし |